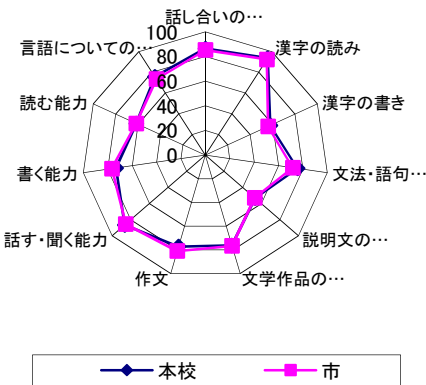


宇都宮市立旭中学校 第2学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	86.5	85.4
	漢字の読み	93.6	92.4
	漢字の書き	58.0	56.0
	文法・語句に関する知識	75.6	71.7
	説明文の内容の読み取り	53.3	53.0
	文学作品の内容の読み取り	76.4	76.7
	作文	77.3	81.1
観点別	話す・聞く能力	86.5	85.4
	書く能力	73.2	76.6
	読む能力	61.7	61.6
	言語についての知識・理解・技能	75.6	73.5



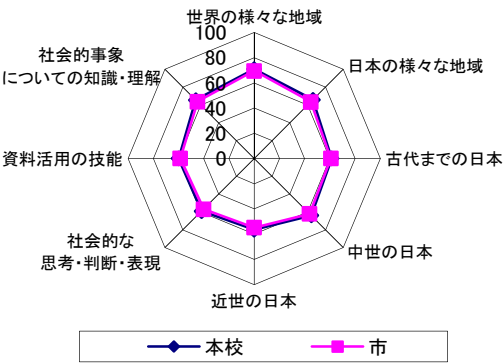
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	全体としては86. 5%の正答率で、市の平均より1. 1ポイント上回っている。しかし、「話の中心的部分と付加的部分の関係に注意して聞き取る問題の正答率」が、市の平均より低かった。	授業の中でも、定期的に聞き取りテストを行い、話の要点をつかむ練習などを行い、内容を聞き取るポイントを理解させるようにする。
漢字	漢字の読みの正答率は、93. 6. %で市平均より1. 2ポイント上回っている。漢字の書きの正答率は、58. 0%で市平均より2. 0ポイント上回っている。	漢字テストなどを繰り返し実施し、漢字に対する生徒の関心を高めるとともに、授業の中で、間違えやすい漢字などについては取り上げて練習するなど、正しい漢字を覚えられるように工夫する。
文法・語句に関する知識	正答率は53. 3%と、市平均より0. 3ポイント上回っている。文の要旨をとらえることはよくできているが、おおまかな内容をつかむことがあまり得意ではない。	要旨だけではなく、文章全体の流れをつかみながら読む練習をさせたい。また、筆者の主張の部分と、事実と意見の違いに注意しながら読む能力を高めていく。
説明文の内容の読み取り	正答率は76. 4%と、市平均より0. 3ポイント下回っている。特に「文脈の中での語句の効果的な使い方について」の問題について2. 9ポイントも下回っている。	登場人物の心情の読み取りや、場面の展開に即して読むことなどはできているので、文章中の語句の意味の確認や、表現技法についての知識を広げる工夫をしていく。
文学作品の内容の読み取り	正答率は77. 3%で、市平均より3. 8ポイント下回っている。すべての項目について市の平均を下回っており、特に、伝えたい事柄を明確にして書ける割合が、市平均に比べて5ポイント以上下回っている。	授業の中で、自分の意見をまとめて発表する機会を増やしていきたい。また、作文指導をもう一度基本から見直して、書く能力向上に努めたい。
作文	正答率は77. 3%で、市平均より3. 8ポイントも下回っている。すべての項目について市の平均を下回っており、特に、伝えたい事柄を明確にして書ける割合が、市平均に比べて5ポイント以上下回っている。	今回のテストで唯一市平均を大きく下回ってしまった。項目なので、授業の中で、自分の意見をまとめて発表する機会を増やしていきたい。また、作文指導をもう一度基本から見直して、書く能力向上に努めたい。

宇都宮市立旭中学校 第2学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	70.9	69.4
	日本の様々な地域	65.9	63.4
	古代までの日本	61.4	60.8
	中世の日本	64.0	62.1
	近世の日本	56.4	54.9
観点別	社会的な思考・判断・表現	59.0	56.9
	資料活用・技能	60.0	58.7
	社会的事象についての知識・理解	65.5	63.7



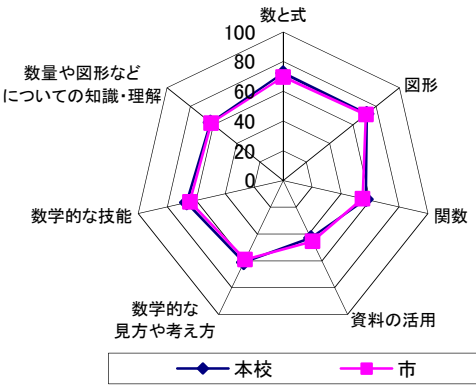
★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を1.5ポイント上回っている。 ・世界の諸地域(ヨーロッパ)について、思考力・判断力・表現力に関する正答率が高かったが、地球儀上で日本にいちばん近い大陸名の正答率が市平均を下回った。	・地球儀と平面地図を見比べたり、これらの資料を用いて学習課題を解決させたりして、地球姿をさまざまな角度から見させる演習を増やしていく。
	日本の様々な地域	・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を2.5ポイント上回っている。 ・世界や日本の人口の特色や中部地方の産業の特色について、思考力・判断力・表現力、資料活用・技能に関する正答率が高かったが、造山帯の特色を選択する問題で、正答率が市の平均を下回った。	・日本が環太平洋造山帯に属することや、世界各地の自然災害やそれらに対する対応について紹介することで、造山帯の特色に関する理解を深めさせる。
歴史	古代までの日本	・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を0.6ポイント上回っている。 ・縄文時代から飛鳥時代の歴史について、思考力・判断力・表現力や知識理解に関する正答率が高かったが、写真を見て法隆寺であることを答える問題の正答率が、市平均を下回った。	・日本の歴史について、文化史、特に仏教建築の歴史や特色にもふれてまとめさせる方法を取り入れたい。また、写真資料を用いて歴史的建造物への興味・関心を高めさせる。
	中世の日本	・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を1.9ポイント上回っている。 ・中世の政治の仕組みや社会の変化について、資料活用や知識・理解に関する正答率が高かったが、武士の館のつくりの特色について述べる、思考力・判断力・表現力に関する正答率が、市平均を下回った。	・古い絵巻物や想定図などを用いるなど、資料からその時代の特色や時代背景を読み取る学習を取り入れる。
	近世の日本	・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を1.5ポイント上回っている。 ・織豊政権に関する知識・理解を問う問題や、江戸幕府の農民統制に関する思考力・判断力・表現力を問う問題は正答率が高かったが、織田信長の宗教政策、江戸時代における大阪の位置づけを問う問題の正答率が、市平均を下回った。	・各時代の政治と宗教政策の関係についてまとめさせる中で、信長の政策を多面的・多角的に検討させる学習を取り入れる。また、江戸時代に三都が繁栄した理由を考えさせ、大阪の果たした役割について理解を深めさせる。

宇都宮市立旭中学校 第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	72.3	69.7
	図形	71.8	71.2
	関数	57.1	54.7
	資料の活用	42.9	45.4
観点別	数学的な見方や考え方	61.1	59.1
	数学的な技能	66.6	64.4
	数量や図形などについての知識・理解	62.6	62.1



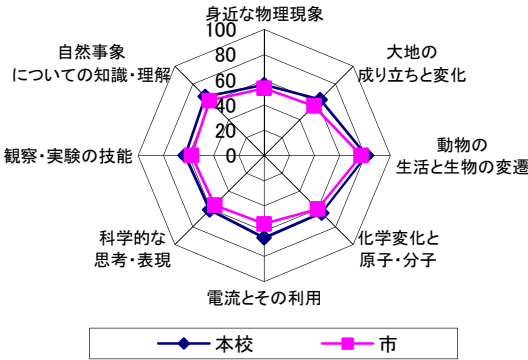
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	・宇都宮市と本校を比較した場合、2.6ポイント上回っている。 ・連立方程式を加減法、代入法で解く問題の正答率は市より低い。	・式の計算や連立方程式の計算問題を苦手とする生徒が多いため、今後は反復練習を行うことにより、計算のやり方を徹底的に身につけさせていく。また、基礎的な内容の定着を図るためにも、補助教材等を有効的に活用していく。
図形	・宇都宮市と本校を比較した場合、0.6ポイント上回っている。 ・平面図形の正答率は比較的高いが、空間図形の辺の位置関係や半球の体積を求める問題の正答率は市より低い。	・空間図形で、立体をイメージして考える問題を苦手とする生徒が多いため、今後は実際に立体を見せたり、ICTの活用をしたりすることで、視覚的に立体をとらえやすくする工夫をし、定着を図っていく。
関数	・宇都宮市と本校を比較した場合、2.4ポイント上回っている。 ・直線の式を求める問題の正答率は市より低い。	・関数において、表・式・グラフの関係性を理解し、問題に生かすことができるようにするために、それぞれの特徴を丁寧に指導し、それらを利用して考える問題の演習に力を入れ、定着を図っていく。
資料の活用	・宇都宮市と本校を比較した場合、2.5ポイント下回っている。 ・近似値や中央値の意味を理解していないため、正答率が市より低い。	・言葉の意味を理解していない生徒が多いため、まずは意味を丁寧に指導していきたい。そこから資料の読みとりにつなげていけるよう、段階を踏んだ指導を行っていくことで、定着を図っていく。

宇都宮市立旭中学校 第2学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	身近な物理現象	56.1	53.4
	大地の成り立ちと変化	62.8	55.7
	動物の生活と生物の変遷	81.1	76.9
	化学変化と原子・分子	64.4	60.0
	電流とその利用	65.3	54.2
観点別	科学的な思考・表現	61.1	55.6
	観察・実験の技能	62.7	57.7
	自然事象についての知識・理解	66.2	61.5



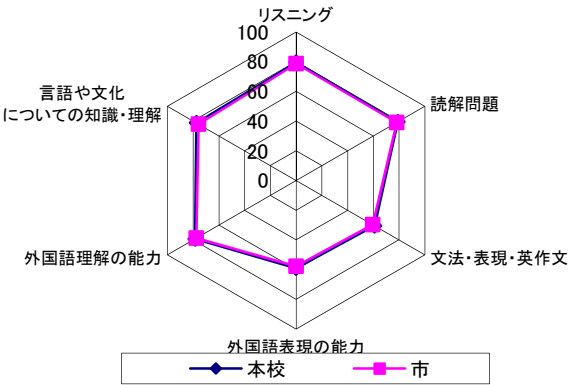
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
身近な物理現象	音の性質については、知識、理解は全国・市に比較すると本校はよく理解している生徒が多いことがわかる。しかし、活用問題で思考の観点を見ると、モノコードでの音の条件や水中にある物体の浮力が深さと関係ないことが知識と結びついていないことがわかる。	・水の中にある物体にはたらく浮力は、深さが深くなっても変わらないことを授業の中で確認していく。 ・力と圧力については全体的に他の領域に比べて正答率が低いので、実験や問題演習などを丁寧にを行い、理解を深められるよう指導に工夫する。
大地の成り立ちと変化	火山岩のでき方については理解しているが、つくりの特徴やそれを産する火山の特徴については理解度が低い。それに対して、地層や堆積岩については市と比較しても10ポイント近くの違いがあり、理解度が高いことがわかる。	・堆積岩と地層の学習内容に比べると、火成岩と火山については正答率がやや低い。火成岩の組織や成り立ちについては火成岩の観察や結晶の観察などを通してしっかり理解できるように支援する。
動物の生活と生物の変遷	相同器官についての理解が国・市の平均に比べて非常に高い。授業で習ったばかりであった可能性がある。脊椎動物の分類についてもよく理解している。しかし、個々の特徴について考えるのはやや難しいようである。	・動物についての関心や知識が高いところで、他の領域に比べてグラフや計算もないので、今後も関心を高めるような授業を心掛ける。
化学変化と原子・分子	水の電気分解については全体的によく理解している。一方で酸化銅と炭素の酸化還元の実験では、ガスバーナーの操作や化学反応式でつまづきがみられる。	・酸化還元の内容は授業の中で例を示しながら理解を深める工夫をする。
電流とその利用	電流計の読み取りは8割以上ができており、身についていることがわかる。電流と電圧のグラフの読み取りは国の正答率を下回っているものの65%以上の生徒が理解している。活用問題としての家庭の電気配線はほかの問題に比べて正答率が低く、答えにくかったようである。	・電流の利用についてはもっと身近な例を対象に取り上げて、応用力を高める指導の工夫する。

宇都宮市立旭中学校 第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	リスニング	79.5	78.7
	読解問題	79.0	78.0
	文法・表現・英作文	60.9	59.4
観点別	外国語表現の能力	59.0	57.8
	外国語理解の能力	78.5	77.6
	言語や文化についての知識・理解	77.5	75.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	・宇都宮市と本校を比較した場合、0.8ポイント上回っている。	・今後も授業中、生徒ができるだけ英語に触れられるよう、たくさん英語を聴かせる。 ・今後もまとまりのある英文を聞いて、内容を理解する練習を通常の授業の中に、取り入れる。 ・リスニングの練習プリントで分かりにくいところは、スクリプトを読み、もう一度きかせるような配慮をしていく。
読解問題	・宇都宮市と本校を比較した場合、1ポイント上回っている。	・今後も、トップダウンの訳の仕方、で、どんどん英文を読んで理解していくように、させていきたい。読解には、単語力が何と言っても大切であるので、単語力の向上のために、単語テストを計画的に行っていく。
文法・表現・英作文	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を1.5ポイント上回っている。	・文法は、文字と口頭によるドリルが大切であるので、今後も継続していきたい。 ・表現力の向上のために、毎時間自己表現の時間を確保して、添削をしていくことを継続していく。